

花粉症・鼻づまりの粘膜レーザー手術

※ 歯に響かない痛みのないレーザー機器を新しく導入しました

＜下甲介粘膜レーザー焼灼術両側＞ K331-3

花粉症や慢性鼻炎の鼻の粘膜は、花粉やホコリなどの外的因子が鼻に入ってきた時にくしゃみによって吹き飛ばし、鼻水によって洗い流そうと働きます。そして、さらに外的因子が侵入してくるのを防ごうと、粘膜を腫れさせることで鼻づまりを起こします。これらは正常な鼻の自己防衛反射ですが、花粉症などのアレルギー性鼻炎や、一年中の粘膜過敏症では、些細な刺激でこの症状が頻発します。まるで常に軽くコショウが鼻の中に入ったような… 過敏性を強く発生する鼻の粘膜の一部（下鼻甲介粘膜）を焼灼処置することでこれらの症状（くしゃみ・鼻水・鼻づまり）を花粉症ではワンシーズン軽減できます。

＜この手術を受けられない方＞

- ★「局所麻酔（歯の治療などの局所麻酔）で気分が悪くなられたご経験のお有りの方」は、お受けできませんので必ずお申し出下さい。

＜手術時間について＞

手術を始める前に、ｽﾌﾟﾚｰの麻酔の後、麻酔液を浸したガーゼを鼻内に挿入し、15分程度粘膜の麻酔を行います。手術時間は両側で5分程度です。

＜術後の注意＞

当日は、**鼻をかまない、激しい運動はしない、お酒は飲まない、鼻洗浄はしない**でください。

術後は一時的に粘膜が腫れ、術後2～3日は鼻づまりや鼻水が多くなったり、血液が混じることがあります。

当日から術後2週間は、鼻をかむことは控えて下さい。

術後2～3週間後、必ず受診していただき、粘膜に付いたかさぶたを取る処置をします。

＜術後のケア＞ *乾燥予防と粘膜を早く正常化させるために*

翌日から 1日1回の鼻洗浄を行ってください。

翌日から ピンクの点鼻薬を1日4回（朝・昼・夜・鼻洗浄後）1回につき片側2回プッシュして下さい。

青色の点鼻薬は、当日より出血や鼻づまりがひどい時のみご使用ください。

シーズン中は、鼻洗浄・点鼻薬が良い状態を維持するために効果的です。

2019.6.6